

FAX通信



いでは

発行:平鹿地域振興局福祉環境部
TEL32-4005 FAX32-3389



こども感染症情報

16.9.7
週報第 604 号

☆ 管内の主な感染症の流行状況 ☆

疾患名	管内状況第35週(8/29~9/4) (34週)	
	発生数(人)	前週との比較
感染性胃腸炎	18 (28)	↓
溶連菌咽頭炎	16 (5)	↑
伝染性紅斑 (リンゴ病)	1 (5)	↓
百日咳	0 (2)	↓
水痘	3 (0)	↑
手足口病	6 (1)	↑
ヘルパンギーナ	28 (7)	↑
咽頭結膜熱	1 (0)	↑
突発性発疹	1 (1)	→

(参考) 秋田県の状況 第34週(8/22~8/28)
＜全県の発生状況＞
1位: ヘルパンギーナ (全県で前週より55%増加)
2位: 感染性胃腸炎 (全県で前週より10%増加)
3位: 溶連菌咽頭炎 (全県で前週より37%減少)
4位: 手足口病
5位: 突発性発疹
県内 警報 北秋田: ヘルパンギーナ

※ 「管内状況」は横手保健所管内の5小児科医療機関による

※ 「秋田県の状況」は秋田県感染症情報センターによる

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは代表的な夏かぜの一つですが、報告数が大幅に増えています。県内では、保育園での集団感染事例も発生していますので、注意していきましょう。



さて、今週号と来週号は、いつもの情報にプラスして、特別号もお届けします。保健所で研修中の市立横手病院の先生からのお知らせです！

横手地域・学校欠席者情報 (9/5)

疾患名	手足口病	感染性胃腸炎	マイコプラズマ	水痘	咽頭結膜熱	溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	その他
施設(数)								
保育所・園(35)	1					3		4
小学校(22)								
中学校(8)					1			
高校(7)								
特別支援学校								

感染症情報収集システムより(人)



こども感染症情報

16.9.7
特別号

☆ こどもの健康 特別号 ☆

夏風邪 に負けない！！

夏も終わりがけですが、まだまだ暑いですね。今回、夏風邪について学んで、この夏を健康に過ごしましょう！

夏風邪って???

夏に見られるヘルパンギーナや手足口病などのウイルス感染症の総称です。

どんな症状？

- ・発熱（主に38℃以上）
- ・咽頭痛
→喉の奥に口内炎様の水疱ができます。そのため、飲みが悪くなる、涎をたらす、指を口に入れるなどの行動が見られます。
- *手足口病では水疱が手・足にも広がります。

どうしたらいいの？

- ・ひからびないように！
→少量ずつでもよいので、十分な水分摂取を。食べられそうなら、うどん・ゼリーなど、のどごしのよいものを。
- ・お薬は？
→ウイルス感染なので特效薬はありません。痛みや熱で水分・食事がとれないようなら、熱冷まし、痛み止めを使いましょう。

小児の脱水は想像以上に危険です。

水分が摂れなくなった時は、早めに小児科を受診しましょう！